

第三章

国際性をはぐくむ市民活動の活性化

第一節 国際化への対応

主たる担当課

国際理解を深める機会の充実

43101

企画課

国際化対応能力の向上

43102

企画課

第二節 外国人もくらしやすいまちの実現

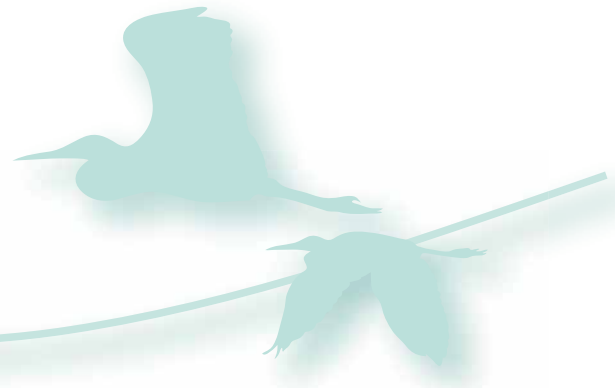
外国人や帰国者への支援

43201

企画課

第一節

国際化への対応



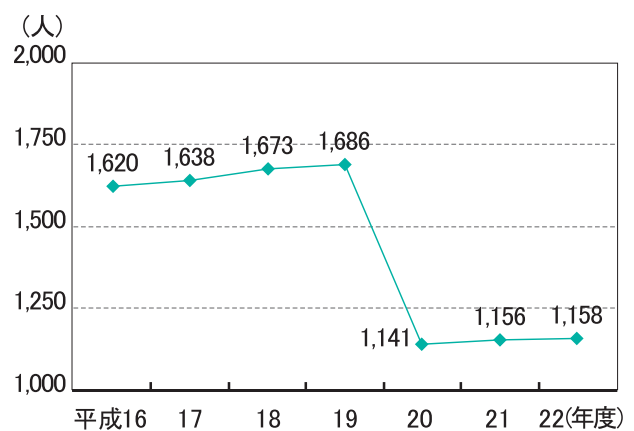
現状と課題

●経済のグローバル化や情報技術の発達、交通手段の進展などにより、日常生活の中で外国人と出会ったり、異文化に直接ふれたりするなど、外国人と交流する機会が増えています。また、海外勤務や海外留学などによって外国に滞在する市民も増加しています。このため、市民が、外国や外国人を理解して、地域社会における外国人との共生や海外での活動を行っていかなくてはならなくなっています。さらに、環境や食糧の問題など、日本のおかれている状況を地球的視野で考えていかなくてはならないことも多くなり、国際化に対応できる市民を育成することが必要となっています。そのため、市民が外国人とのコミュニケーション能力や国際感覚を身につけ、さまざまな国際的課題に取り組めるよう支援することが求められています。

●今後も、市民が国際理解を深めるため、国際性豊かなイベントの開催や国際交流団体などが実施する講座や展覧会など、異文化にふれる機会を充実させることが必要です。また、市民や子どもたちの国際性を豊かにすることや国際感覚を備えた市職員の育成など、国際化対応能力の向上を図ることが求められています。

●市では、平成4年に「国際化推進基本方針」を定め、国際化への対応を進めてきました。平成22年には、多文化共生という新しい国際化のあり方を踏まえた「第二次国際化推進基本方針」を策定し、国際化を推進しています。また、外国人との交流や日本人の国際理解を進める「我孫子市国際交流協会」の活動を支援してきました。さらに、小学校5・6年生及び中学校の各クラスで週1回ALT（英語指導助手）の授業を実施するとともに、日本在住の留学生を講師として招き、母国の文化・教育についての授業を実施するなど、国際理解教育を推進してきました。

■ALT一人あたりの生徒数



施策の展開

○国際理解を深める機会の充実

43101

国際的なイベントの開催や国際交流団体などが実施する講座、展覧会などにより、市民が外国の文化や習慣など、国際理解を深める機会を増やします。

○国際化対応能力の向上

43102

市民の国際理解の促進や国際感覚を備えた市職員を育成するため、講座や教室などを開催し、国際化対応能力の向上を図ります。また、学校での授業や地域での体験イベントなどを通して、子どもたちの国際化対応能力の向上を図ります。

目標・指標

目標

- 市民が、外国の文化や習慣などを理解することができる機会が増えている。 43101
- 市民、子ども、市職員の国際化対応能力が向上している。 43102

指標

指標名 (指標の説明など)		現況値	目標値
		平成22年度	平成27年度
「国際性をはぐくみ、外国人もくらしやすいまちづくり」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合)	43101	28.9% (23年度)	35%
小中学校の外国語活動・英語の学習に対する満足度	43102	87%	92%

第二節

外国人もくらしやすいまちの実現

現状と課題

- 我孫子市には、平成24年1月現在、1,289人の外国人登録があり、その数は年々増えてきています。
- 市では、我孫子市国際交流協会と連携して、広報あびこの月1回の英訳、外国人相談窓口の設置、くらしの便利帳の英訳版「リビングインアビコ」の発行、外国人のための日本語教室の開催など、外国人の日常生活を支援するとともに、国際交流まつりや国際交流スピーチ大会などの交流事業を行っています。また、公共サイン計画に基づき、市内の公共サインにローマ字併記を進めています。
- 今後も、外国人との交流促進、外国語による生活情報の提供、外国人市民の日本語能力の向上、公共サインのローマ字併記、日本語の不自由な帰国児童生徒への支援などに取り組み、外国人市民が安心して生活できる環境を整備するなど、外国人もくらしやすいまちの実現を進める必要があります。
- また、外国人市民は、地域社会を担う一員であることから、外国人市民に自治会やまちづくり協議会などの活動情報を提供するとともに、地域での活動に参加できるよう地域に働きかけをしていく必要があります。

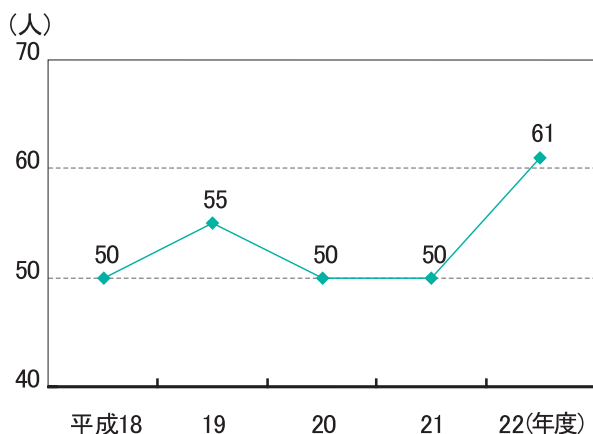
■ 国別外国人登録者数

(単位:人)

	平成19年	20	21	22	23	24
朝鮮・韓国	204	198	226	226	230	226
中国	292	327	403	471	496	500
アメリカ	38	34	27	27	30	30
その他の国	406	442	485	512	533	533
総数	940	1,001	1,141	1,236	1,289	1,289

※各年1月1日現在

■「外国人のための日本語教室」を支える市民の数



施策の展開

○外国人や帰国者への支援

43201

外国人市民や帰国児童生徒が安心して日常生活を送れるよう、相談窓口や外国語での情報提供の充実、外国人向け日本語講座などによる日本語能力の向上などを図ります。また、外国人市民に自治会やまちづくり協議会などの活動情報を提供し、地域活動に参加できるよう地域に働きかけをしていきます。

目標・指標

目標

○外国人市民や帰国児童生徒が、安心して日常生活を送れるような支援が 43201
充実している。

指標

指標名 (指標の説明など)	現況値	目標値
	平成22年度	平成27年度
「外国人のための日本語教室」を支える市民の数 (ボランティア教師と託児ボランティアの合計) 43201	61人	66人